

株式会社ミュージックバード 第64回番組審議会議事録

1. 開催日時 平成26年12月10日(水) 15時00分～16時30分

2. 開催場所 TOKYO FM 10階 大会議室

3. 出席者

◆番組審議会委員

- ・矢内 廣 委員長
- ・松尾 修吾 副委員長
- ・福本 ゆみ 委員
- ・中西 健夫 委員
- ・村井 裕弥 委員

◆放送局

- ・一瀬 社長
- ・雄谷 常務
- ・江森 技師長
- ・関田 監査役
- ・岩崎 プロデューサー
- ・田中 プロデューサー
- ・事務局 高木

4. 議事概要

今回は、THE JAZZ チャンネルの番組「タマで聴く！大橋慎のハイレゾしばり」(10月1日(水) 22:00～23:00 出演：大橋慎 ゲスト：田中幸成)について審議が行われた。

・当番組は、今話題となっている「ハイレゾ音源」について「興味はあるが、どうやって聴けばいいのか分からない」「本当に音はいいの？」という人向けにその魅力と楽しみ方をご紹介していくもの。パーソナリティの大橋慎氏は、真空管アンプ・ファンや自作オーディオ派の間にハイレゾ・ファンを広げてきた実績の持ち主。ハイレゾ音源を真空管機器で鳴らす先駆者であり、真空管オーディオ界でカリスマ的人気を誇る。

・この番組で使用する音楽ソースはすべて、PCM ハイレゾ音源。これを真空管アンプを介して再生し、放送。ハイレゾと真空管という一見意外な組み合わせが生む極上のサウンドをリスナーに楽しんでもらいたい。放送上 48kHz16bit にコンバートされるが、CDを音源とする通常の放送よりも音が良いと番組開始早々にリスナーから反響があった。

ということが放送局側から説明され、これに対して委員からは、

- ・先日、ハイレゾ音源を聴く機会があったが、その音の良さに驚いた。是非自分でもハイレゾを聴くことができる環境を揃えたいが、どうすればよいか分からない。
- ・再生方式によって異なるが、手持ちのアンプ、スピーカーを利用しつつ、その手前の機器を用意するだけでよい。全てハイレゾ専用の機器に変える必要は全くない。
- ・現在、録音の技術は格段に進歩している。「ハイレゾ」とは、音の情報をCDの規格にあわせて切り捨てることなく、収録した音そのものをリスナーへ届けること。また、最新のデジタル録音からはもちろんのこと、CD以前のアナログ録音からも、高品質なハイレゾソフトができる可能性がある。あらゆる音楽ファンにとってうれしいことだ。

等の意見・助言があった。局からは

- ・今、「ハイレゾ」は音楽業界、オーディオ業界を賑わすキーワードとなっているが、「音楽をいい音で聴く楽しみ」を見出す方が少しでも増えれば、当社にとっても追い風となると期待している。また、当社としても、そういった気持ちと呼び覚ますルネサンス的な役割を担っていきたい。との考えが説明された。